



赤字ではないけど、まちの将来を考えると、うかうかしてはいられないんだ…。



日野町の財政健全化比率や貯金、借金の推移は下を見てね！



わあ！ありがとう♡ごぞいませ♡



自治体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化等を判断するものとして、次の4つを指して「財政健全化比率」というんだ。

**実質赤字比率** … 財政規模に対する一般会計などの赤字の占める割合を表します。

**連結赤字比率** … 財政規模に対する一般会計、特別会計を含めた全会計の赤字の占める割合を表します。

**実質公債費比率** … 各自治体による財政負担の度合いを判断する指標。1年間の収入に対する借金返済の負担割合です。

**将来負担比率** … 各自治体が将来負担すべき負債が、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。



つづき

ハイ、ハイ！先生う、ひらめきましたー！

日野町って貯金とかあるのかなあ…。まちの財政状況が分かるものとかあるんですか？



決算を通して、いろいろなことが分かるんですね！私たちが将来の日野町を担う若者の一人として、まちの未来を創造できたらいいな！



おっ、いいところに気付いたね！実は、まちの財政状況（健全化）を表す4つの指標があるんだ！それを見ていこう。

## ✓ 財政健全化比率・まちの貯金

### 4 CHECK 家計のやりくり度をチェックしよう！

自治体の財政健全化を表す4つの指標は、すべて基準を下回り昨年度より改善が進みました。しかし、借金の返済額の大きさを示す「実質公債費比率」は、近隣町村に比べ、依然高い状態です。今後も健全な財政運営に努めます。

### 5 CHECK いざという時の備えに。

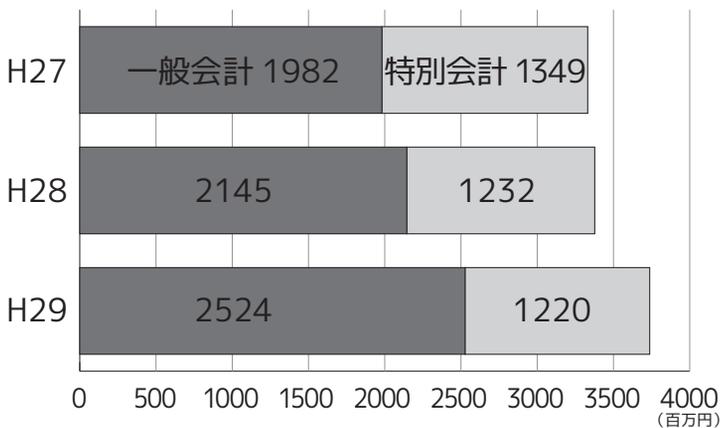
町では、目的別に財政調整基金や町営バス購入等基金、観光振興基金、愛と元気の日野町ふるさと基金（ふるさと納税）など、毎年基金を積み立てています。その額は、平成28年度から20億円を超えています。

しかし、老朽化した公共施設の修繕や改修、そしていつ災害などに見舞われるか分かりません。昨年9月に制定した町公共施設等長寿命化基金や財政推計をもとに、今後も長期的な計画に基づき基金を積み立てながら、効果的な基金の活用を図ります。

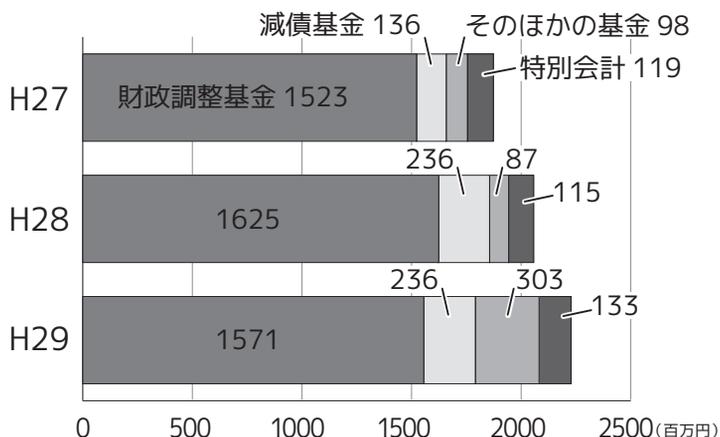
日野町の財政4指標の数値（平成29年度決算）

	財政再生基準	早期健全化基準	日野町
実質赤字比率	20%以上	15%以上	—
連結実質赤字比率	40%以上	20%以上	—
実質公債費比率	35%以上	25%以上	11.6%
将来負担比率	—	350%以上	—

まちの借金の推移（過去3年）



まちの基金（貯金）残高（過去3年）



※平成29年度より、その他の基金に「公共施設等長寿命化基金」が含まれています。

第17回日野町民ミュージカル

「ももたろうの仲間 ぶしぎもん」

11月25日(日)

日野町文化センター

入場料 一般 1,500円(当日2,000円) 4歳～高校生 1,000円(当日1,500円)

チケットは10月1日開始

主催 日野町民ミュージカル実行委員会 後援 日野町・日野町教育委員会



楽しかったねー。そういえば、ななみちゃん、言い残したことはないの？

おまけ



Like

私も出演する第17回日野町民ミュージカルが、11月25日、上演されます！見どころ満載なので、ぜひ見に来てくださーいね！

おしまい

☑ 平成 29 年度の主な事業

事業名	実施内容
ブロードバンド整備事業	中海テレビ放送による高速ブロードバンド環境の整備を行いました。また、7月の開局に伴い、サービスの加入促進を実施。目標としていた加入率7割も達成しました。
自主放送整備	ケーブルテレビ網を活用して、議会放送や町内のニュース、行政情報、防災情報を発信する町独自のチャンネル開設を目指しました。平成 29 年度は放送のための施設整備を行いました。
耐震性貯水槽整備事業	町内の水利の不足している地区に、安定して使用可能な貯水槽を設置。火災発生時に迅速な消火活動が行える体制を整えることができました。平成 29 年度は 2 自治会（津地、福長）に設置
元日野サンプラザ有効活用事業	遊休化していた商業施設を町が取得し、多機能複合施設として整備を行いました。平成 29 年度は、①賑わい交流ゾーン、②オフィスゾーン、③セレモニーゾーンの改修工事を実施。8月1日のセレモニーゾーンオープンを皮切りに、コインランドリー、宝くじ売り場のオープン、山陰合同銀行根雨支店の移転など、にぎわいづくりの拠点として整備することができました。
移住定住・空き家対策事業	町内に点在する空き家の利活用を図るため、移住者向けに空き家改修費用や家財道具処分費用の助成を行いました。加えて、Uターン者・Iターン者などの住宅整備への補助や、町内の小中学校に通う児童を扶養する保護者にあゆ奨学金の支給など、移住定住しやすい環境を整えました。また、移住希望者に日野町での生活体験を通し移住につなげるため、お試し住宅を活用したほか、独身の男女に出会いの場を提供するため婚活セミナーおよびイベントを実施しました。
奥日野たたらの里づくりプロジェクト	かつて奥日野の一大産業であった「たたら製鉄」と、それがもたらした「たたら文化」にスポットを当て、観光面でたたらをキーワードにした取り組みを行いました。平成 29 年度は、「都合山たたら遺跡 AR モニーツアー」の実施や、「たたら HP」を通して日野町の風土や歴史、まちづくりについて発信しました。また、都合山たたら遺跡の PR ツールを製作しました。
地域包括ケアシステム構築事業	鳥取大学医学部地域医療学講座と連携し、健康講座や小中学校での「命を考える事業」の開催、ケーブルテレビを活用した住民向けコンテンツの作成などを行いました。医療・福祉・保健・介護・生活支援などが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めることで、地域住民の健康で安心して暮らせる地域の仕組みづくりと健康意識の向上を図ることができました。
家庭子育て支援事業	保育所に入所せず、3歳未満児の保育を行っている世帯に対し、家庭子育て支援金を支給。家庭内で子育てを行う世帯の経済的負担の軽減だけでなく、家族の愛情形成、安心して子育てできる環境を整えることができました。
三町衛生施設組合負担金	平成 27 年度から 3 年をかけ整備していた汚泥再生処理施設の建設負担金。新施設は平成 29 年 12 月に完成し、住民の生活環境の維持や、し尿処理などの効率化が図れました。
町道根雨 1 号線歩道設置事業	国道 181 号から町道入口の根雨踏切内に歩道を設置し、歩行者の安全確保が図れました。
町道下黒坂線道路改良事業	舟場から江府町下安井間を結ぶ路線の整備を図りました。平成 29 年度は路線測量、詳細設計（山地部）、土質調査を実施しました。
交流促進施設管理	町の交流促進施設「リバーサイドひの」の管理運営を、指定管理業者に委託。平成 29 年度は、宿泊棟の空調設備や案内看板のリニューアルを行い、利用者の利便向上を図ることができました。
鳥獣被害対策事業	侵入防止柵などの設置や、イノシシ・ニホンジカなどの有害鳥獣を捕獲し、農作物被害の低減を図りました。また、日野郡鳥獣被害対策協議会の活動を支援。研修会や農作物被害相談、侵入防止柵設置指導などを通し、地域の被害防止対策に対する意識向上が図れました。
公設英語教室事業	小学校 5・6 年生、中学校 1・2 年生を対象に、公設英語教室開催。児童や生徒の学習意欲、総合的な英語力の向上が図れました。
日野中学校教室照明 LED 化事業	電源立地地域対策交付金を活用し、日野中学校の教室照明を LED 照明に交換。消費電力の節減だけでなく、生徒がより快適に勉学に励むことができる環境を整えることができました。



▲金持テラスひののグランドオープン記念式典（2月）  
▶町観光協会による宝くじ売り場には連日多くの人々が来店